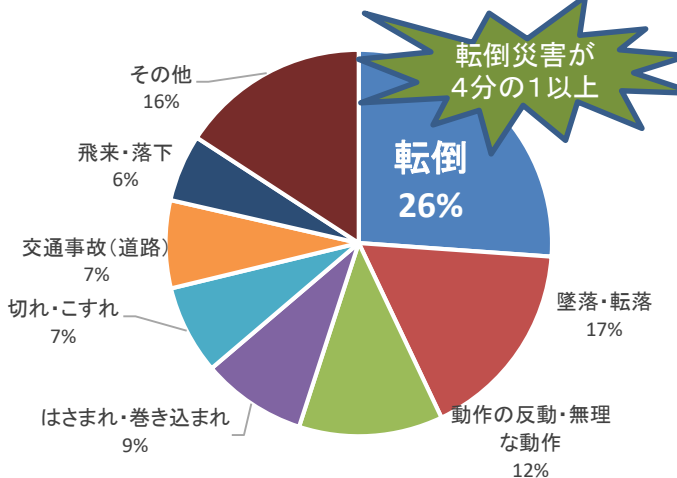
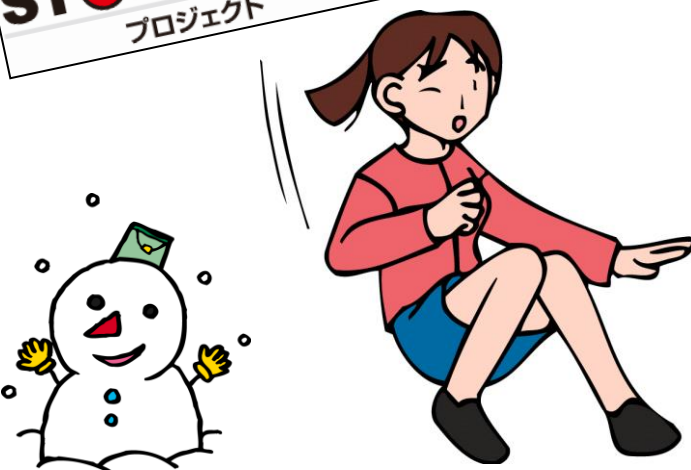


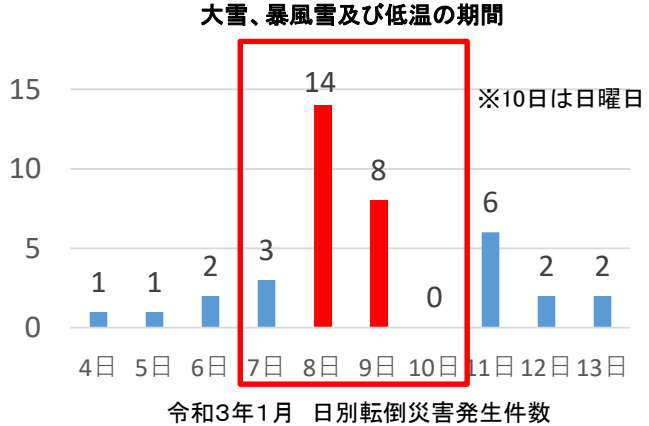
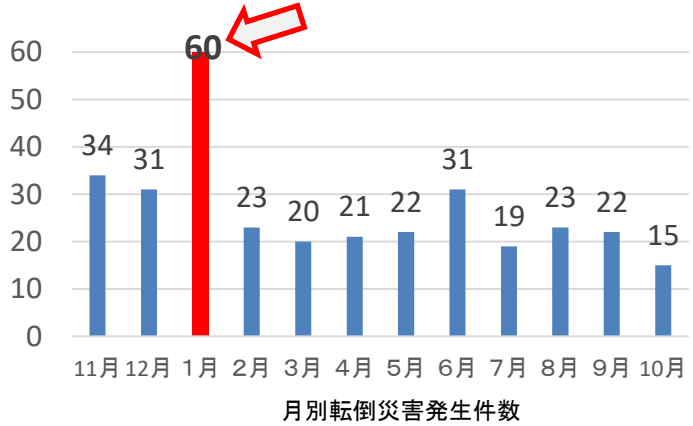
冬季の転倒災害防止を！

STOP! 転倒災害
プロジェクト



事故の型別労働災害発生状況(令和3年1月～10月)
資料出所:労働者死傷病報告 ※コロナ感染症罹患を除く

- 山口県における労働災害の4分の1以上が「転倒災害」によるものです。
- 令和3年1月7日から10日にかけて、山口県では大雪と厳しい冷え込みによって、転倒災害が大幅に増えました。



【災害事例】

1月8日9時30分 廃棄物処理業	客先で廃棄物回収の作業を終え、サインをもらうため敷地内を歩行中、凍結した路面で足を滑らせ転倒し、頸椎を損傷した。(休業見込み1か月)
1月8日15時 化学工業	工場内の屋外通路を歩行中、凍結した路面で足を滑らせ転倒し、左足を骨折した。(休業見込み7日)
1月9日17時 小売業	終業後、正面玄関を出たところで凍結した路面で足を滑らせ、反射的に右手をついて右手首を骨折した。(休業見込み2か月)

- 山口県でも、年に何日かは路面が凍結する日があります。
- 裏面のチェックリストで、凍結等による転倒リスクをチェックしましょう。



あなたの職場は大丈夫？

凍結等による転倒の危険を チェックしてみましょう

チェック項目



- 1 積雪、凍結時に転倒のおそれのある場所は、事業場内で認識していますか
- 2 除雪用具、融雪剤、転倒防止用マットを準備していますか
- 3 段差のある箇所や滑りやすい場所などを、転倒危険場所として「見える化」していますか
- 4 ヒヤリハット情報を活用して、転倒しやすい場所の危険マップを作成し、周知していますか
- 5 「ながら歩き」や走っての移動、ポケットに手を入れたまま歩くことなどを禁止していますか
- 6 屋外通路や駐車場等における転倒防止のため、滑りにくい靴の着用を推奨していますか
- 7 降雪、凍結前に労働者に対し、転倒を予防するための教育・指導等を実施していますか
- 8 降雪、気温に関する気象情報を把握し、注意喚起を行うための体制を確保していますか

転倒災害の4割以上が60歳以上の被災者です。
厚生労働省では「高年齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン(通称:エイジフレンドリーガイドライン)」を策定しています。



厚生労働省ホームページ

働く高齢者の特性に配慮した「エイジフレンドリーな職場」を目指しましょう！